



知つてゐるつもり (109)

学芸員 奥住 淳

承天寺と聖観世音菩薩立像

承天寺の伝承

芝山町大里・坂志岡の承天寺は、真言宗智山派の寺院です。創建の伝承については、『総州山室譜伝記』に、弘治元年（1555）、山田にあった金光寺が大台城主井田氏と坂田城主三谷氏の合戦で焼失し、本尊の観世音菩薩立像を運び出し、坂志岡に承天寺を建立し本尊としたと記されています。運び出したのは、この観世音菩薩を守り本尊としていた清滝姫の子孫としています。清滝姫は、桓武天皇の時代、山田村の小川孫三郎が京の都へ上った際に宮中で見初めた女性となり、二人は夫婦となり山田村に戻ることで、天皇の命により金光寺が建立されたとの由緒があります。



聖観世音菩薩立像

承天寺に安置された聖観世音菩薩は、33年に一度開帳されてきたとされ、清滝姫の子孫とされる山田・小金（金光寺のあった場所）の小川氏が像を背負い出すまねをして扉を開いたとのことです。寺には清滝姫の位牌も残されています。

聖観世音菩薩立像

承天寺本尊の聖観世音菩薩立像は、髪を結び、左肩から右脇腹にかけて

疱瘡稲荷

承天寺に隣接した小高い場所に建てられているのが倉稲魂命（ウカノミタマノミコト）を祭神とする稲荷神社です。宝暦10年（1760）の創建で、当時流行した疱瘡を見かねて、坂志岡村の橋本礼右衛門が疱瘡の治癒に霊験あらたかとされた筑後（福岡県）の稲荷神社より勧請したと伝えられています。このことから、疱瘡稲荷と呼ばれるようにな

斜めに垂らす条帛・天衣・裙（下半身のスカート風の巻物）を着けて、左手を屈し、右手を垂下させています。像高は170・5センチで、頭から足まで一本の木で造られています。『芝山町史』による調査では、伏し目がちのおだやかな表情、頭体の自然なバランス、柔らかな控えめな肉付け、浅くなだらかな衣文線（衣装のひだの表現）などの特徴をもち、平安時代後期（12世紀）の作と推定され、町内では最古の仏像とされています。また、頭部正面から首下にかけて、焼損部分が見られ、『譜伝記』が記すように金光寺の旧仏にあたる可能性が高いと考えられます。このように本像は、芝山町最古の仏像であることや『譜伝記』の由緒により文化財価値も高いことから、本年9月12日に町指定有形文化財に指定されました。



承天寺本堂



稲荷神社（疱瘡稲荷）

り、皮膚全般に効能があるとされ多くの参詣者を集めました。2月初めの午の日に行われる初午の祭礼は、「稲荷大明神」の幟を立てて盛大に行われ、坂志岡のお稲荷さんとしても親しまれてきました。現在では、2月11日を決まり日として初午の祭礼が行われています。



好きな言葉

「ちりも積もれば山となる」

全てに当てはまることですが、どんなに小さな物（努力）でも、積み重ねればやがて大きな形（財産）になると信じています。

教頭先生EYE

よく気が付き、校舎内外の清掃や整理整頓をこまめにやったださる実川さん。その手際のよい仕事ぶりには職員一同感謝です。職員室で一緒に摂る食事（給食）の時間は、明るい性格と芸能通からの豊富な話題で、いつも和やかなひとときを提供してくれます。子どもたちにも、にこやかに声掛けし、親しまれる存在となっています。

次回は芝山中学校「井坂智子」先生が登場

Q▶子どもの頃の思い出

A▶子ども時代の記憶はあまりありませんが、いつも犬や猫を飼っていたので、ご飯をあげたり遊んだりしていました。また、家族でぶどう狩りに行ったのを覚えています。

Q▶用務員になろうと思ったきっかけ

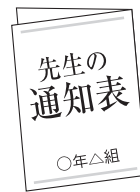
A▶子どもが好きなので、少しでも関わられる仕事をしたいと思っていました。

Q▶児童たちの魅力

A▶東小学校の子どもたちは、本当に素直な子どもたちです。将来がとても楽しみです。

Q▶挑戦してみたいこと

A▶たくさんありますが、陶芸をしてみたいです。



- ☆分からないことがあると、やさしく教えてくれるよ。
- ☆花壇の草取りや水まきをしてくれます。
- ☆給食の片付けを手伝ってくれるよ。
- ☆いつも笑顔がすてきです。
- ☆みんなが気持ちよく過ごせるように、影で支えてくれるよ。



9月20日 「空の日」「空の旬間」



空の日に航空科学博物館へ遊びに行ったよ。天気はあまり良くなかったけど、飛行機が好きな子どもたちがいっぱい遊びに来てくれたよ。

10月12日 町民体育祭



町民体育祭へ選手の応援に行ったよ。小中学生はみんな足が速くてビックリ！ほくもリレーで走ったけど負けちゃった。

